2019年度認知症地域支援推進員研修【新任者研修】 II 認知症の人とその家族の支援体制の構築及び 認知症ケアの向上を図るための取組みの推進 『支援体制構築(事例①)』

強みを活かした推進員活動

はじまりは、

本人、家族、支援者自身、組織の強みを探すところ

愛知県みよし市 福祉部長寿介護課 近藤 隆彦



みよし市の基礎情報 平成31年4月1日時点

人口	61,153人	65歳以上人口	10,841人
高齢化率	17.73%	第7期介護保険料	4,040円
日常生活圏域数	3か所(H29~)	包括数 (H29増設)	直営:1か所 委託:2か所

認知症地域支援推進員数: 11名(うち行政:3人、包括:6人、その他:2人)

地域の特徴:

- ・名古屋市と豊田市の間に位置し、人口増加しているが、高齢化率は低い。
- ・約32 K m²と小さなまち。古くは農村であり、名産はかき・なし・ぶどう。
- ・桜の名所でもある三好池は、カヌーのまちの象徴でもあり、その道の人には有名。
- ・夏に三大夏まつりがあり、大提灯は世界一の大きさ。
- ・認知症施策は、認知症サポーターキャラバンで市部門日本一のまち。









第7期介護保険事業計画における認知症施策の全体像

普及・啓発 認知症サポーター養成講座 回想法事業 医療・介護の提供 認知症ケアパス普及 ひまわりノート活用 若年性認知症対策 認知症初期集中支援チーム 認知症地域支援推進員 介護者支援 認知症家族交流会 認知症カフェ事業 地域づくり 徘徊高齢者捜索模擬訓練 あいちオレンジネットワーク 研究開発・促進 (みよし安心ネット配信) 生活支援体制整備事業 当事者視点の重視 みまもっ手(社協)

みよし市の推進員の主な役割

推進体制の明確化について

地域包括ケアシステム深化に 向けて認知症施策を再構築する。 ルール、ロール(役割)、ツー ル(道具等)の明確化とエント リーポイント(情報の集約点、 入口)を設定する。

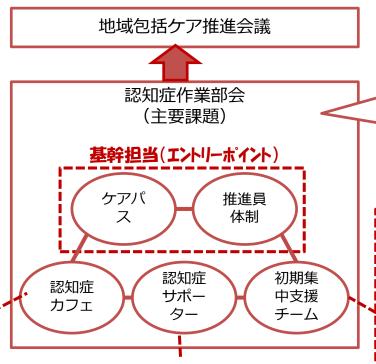
なかよし推進員担当

- カフェ全般の推進体制掌握
- 生活支援体制整備と連動
- 居場所の定義と整合
- 全国のカフェ調査

なかよし包括 (生活支援強化) 第1層]-ディネーター

補足事項(方針、ルール)

- 各所属、立場の強みを生かすこと (各包括は現場がある強み)
- 細かくPDCAを行うこと
- 全国の事例を参考にすること
- ※些細なことでも基幹に 相談してください。



きたよし推進員担当

- 事業全般の推進体制掌握
- 事務局機能強化
- フォローアップ企画・調整
- ボランティア養成企画

きたよし包括 (普及啓発強化) 認知症サポーター事務局

その他の課題

- 認知症の人の声の反映
- 行方不明対策のさらなる強化
- 家族支援のあり方
- 権利擁護の方法
- 認知症予防

等

みなよし推進員担当

- チーム全般の推進体制掌握
- ・ チームの事務局機能強化
- 医介連携と整合
- 広報啓発活動検討

みなよし包括 (医介連携強化) 統括保健師等

・・・・各主要課題に対応した最大のツール



みなさんの強みはなんですか???

【近藤の強み】

- 保健師だけど、希少価値の高い男性
- 仕事モードのときは、社交的
- 趣味:家庭菜園、ピアノ、カフェが好き
- ・パソコン作業が得意
- みよし市は生まれ育ったまち
- 行政保健師で推進員
- 健康教育が保健師の仕事で一番好き
- 健康づくり、予防接種、高齢福祉を担当した経験がある。
- それ以外の分野に関しては無知

これらをどう活かせたか

の事例紹介が今日のおはなしです。

事例 1 ~認知症カフェ開設の立役者!Aさんの事例~

Before



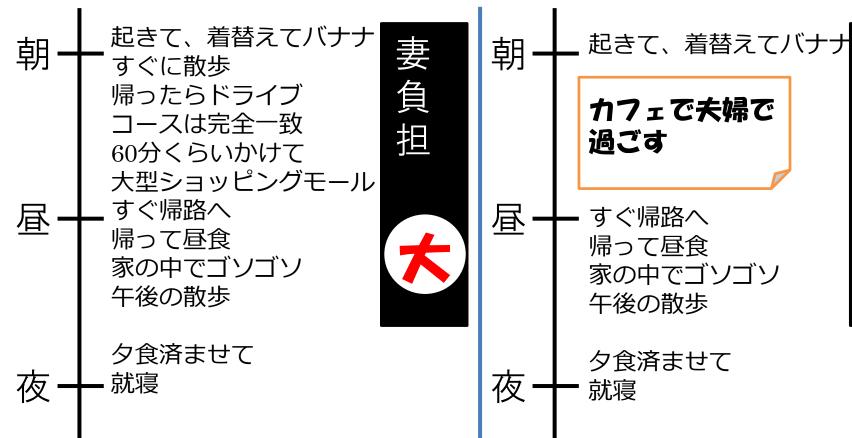
ビフォーアフター

After

妻

負

担



個別の支援をきっかけに施策につながった

キッカケその1: 本人が得意なこと、好きなこと







- 個別支援をひたすら追及
- 本人の好きなことを探した
- 日頃はじっとしていられないけ どモーニングは少し違った

キッカケその2: 喫茶スペースがそこにあった



- 介護事業所併設カフェ発見
- 認知症対応型デイもある
- モーニングもやっている

本人と主介護者の妻のゆとりの時間のためにカフェありという想いから事業所と交渉開始

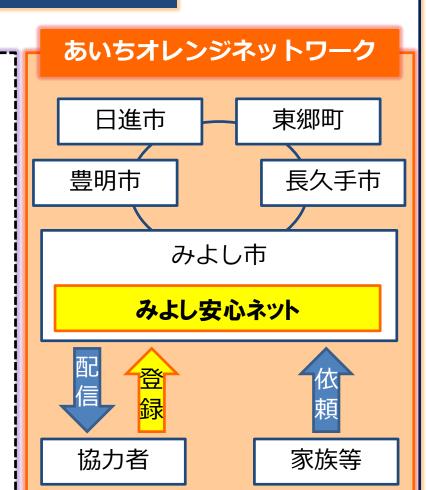
事例2~行方不明者への対応~

行方不明者への対応の全体像

警察

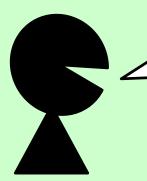
連携協定





行方不明者への対応に取り組むきっかけ、課題意識

キッカケその1: 認知症の人の家族の発言



- ・徘徊しそう
- ・常に一緒は無理
- 閉じ込めとくしかない
- ・徘徊しちゃったら、あなた一人じゃ捜索無理
- 介護者の思わぬ一言(上記)
- この状況を継続させてはダメ
- まちづくりとしてじっくり対応 を考えていくべきだ。

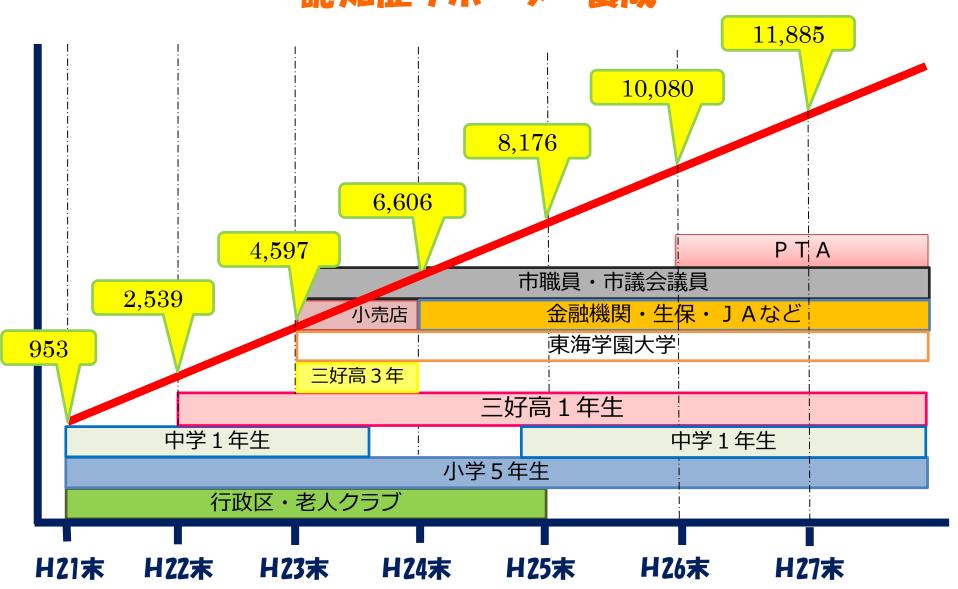
キッカケその2: 地理的要因



- 隣り2市町が認知症モデル事業
- 市単独では効果限定的
- ノウハウをゼロからは非効率

無知という強みが、危機感をあおり、対策につながった

事例3:行政の強みを活かせた事例 ~認知症サポーター養成~



行政の強みを活かせた事例 〜認知症サポーター養成〜

教育委員会へ依頼



校長会で説明、依頼



各校の日程希望確認



各ポジションの強みは何か

非包括 • 計画、予算等施策反映 直営包括職員 行政職員 庁内他課から情報収集 国等の情報が得やすい 行政間連携を進めやすい 行政 総合相談等からニーズを 把握しやすい。 想いは同じ 事業所や民間企業とネッ 共通項 トワークがある。 支援のノウハウがある。 病院や介護施設等の施設 非行 特性毎の専門性発揮 政 民間の柔軟性 住民接触機会豊富 その他 委託包括職員

行方不明者への対応の事業・取組みにおける工夫 ~推進員として心がけたこと~



個別支援から仕組み化の要素を抽出

- みよし市の認知症施策は、家族支援を形にしたもの
- 本人、家族の困りごとだけじゃなく、好きなこと得意なこと に着目した。
- 個別を積み重ねると仕組みの必要性が出てくる。



目的を共有し、他とネットワーク

- 内々での対応では、本人、家族の感動は生まれない。
- 1人1機関での支援は、点にしかならない。線が必要
- 2人2機関以上が関わるなら、目的は絶対共有
- 個別のネットワークを積み重ねると自然とまちのネット ワークに広がる。

今後の活動の方向性について

認知症の人にやさしいまちは、高齢者にやさしいまち



まちづくりの課題は、生活支援等全体として考えていく必要がある。



地域包括ケアとして"小さなつながり"を広げる

仲間づくりを続ける

推進員の皆様へ





「全国認知症地域支援推進員連絡会ーすいしんネットー」検索



全国の推進員で交流しましょう!

推進員の皆様へ

愛知県みよし市三好町小坂50番地 みよし市役所 福祉部 長寿介護課 認知症地域支援推進員・保健師 副主任 近藤 隆彦

電 話 0561-32-8009 ファクシミリ 0561-34-3388 takahiko_kondo@city.aichi-miyoshi.lg.jp

